



## 2023年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月1日

上場会社名 株式会社キングジム 上場取引所 東  
 コード番号 7962 URL <https://www.kingjim.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 彰  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883  
 定時株主総会開催予定日 2023年9月14日 配当支払開始予定日 2023年9月15日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年9月14日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無 ( 動画配信のみ )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年6月期の連結業績(2022年6月21日~2023年6月20日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	39,393	7.5	368	△63.4	637	△52.4	419	△46.8
2022年6月期	36,636	0.9	1,007	△58.3	1,338	△51.4	788	△59.8

(注) 包括利益 2023年6月期 1,209百万円( 40.8%) 2022年6月期 859百万円(△67.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年6月期	14.72	14.66	1.7	1.8	0.9
2022年6月期	27.69	27.57	3.3	4.2	2.8

(参考) 持分法投資損益 2023年6月期 -百万円 2022年6月期 -百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期	35,812	24,833	69.1	867.29
2022年6月期	33,512	24,231	72.0	846.80

(参考) 自己資本 2023年6月期 24,746百万円 2022年6月期 24,135百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年6月期	166	△1,234	1,065	5,923
2022年6月期	△1,278	△3,578	3,206	5,637

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年6月期	-	7.00	-	15.00	22.00	627	79.5	2.6
2023年6月期	-	7.00	-	7.00	14.00	399	95.1	1.6
2024年6月期(予想)	-	7.00	-	7.00	14.00		66.6	

## 3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年6月21日~2024年6月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,900	7.1	0	-	80	-	40	-	1.40
通期	42,000	6.6	700	90.1	900	41.2	600	42.9	21.03

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期	31,459,692株	2022年6月期	31,459,692株
② 期末自己株式数	2023年6月期	2,926,776株	2022年6月期	2,957,834株
③ 期中平均株式数	2023年6月期	28,520,767株	2022年6月期	28,491,160株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年6月期の個別業績（2022年6月21日～2023年6月20日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	23,820	△0.5	27	△94.9	264	△65.3	254	△46.2
2022年6月期	23,929	△6.8	543	△61.9	762	△53.6	473	△58.8
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年6月期	8.94		8.90					
2022年6月期	16.63		16.56					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2023年6月期	29,065		19,835		67.9	692.11		
2022年6月期	26,914		19,670		72.8	687.09		

(参考) 自己資本 2023年6月期 19,747百万円 2022年6月期 19,583百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。
- 決算補足説明資料は、本日、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、決算説明動画を2023年8月下旬に当社ウェブサイトにて配信する予定です。  
 決算補足説明資料 <https://www.kingjim.co.jp/ir/library/tansin.html>  
 決算説明動画 <https://www.kingjim.co.jp/ir/event/presentation.html>

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本的方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動縮小から緩やかに持ち直す動きがみられましたが、世界的な金融引き締めを背景とした金融資本市場の変動や継続的な物価上昇の影響により、依然として厳しい状況となりました。

このような状況のもと、第10次中期経営計画（2022年6月期から2024年6月期）の目標達成に向けた取り組みを実行してまいりました。

「テブラ」やファイルといった基盤事業のさらなる強化を図りつつ、インテリアライフスタイル事業や衛生・健康用品の拡販、M&Aによる事業領域拡大など、成長分野への注力しております。

当連結会計年度の業績につきましては、2021年11月より子会社化したライフオンプロダクツ(株)と2023年2月に吸収合併した(株)エイチアイエムの売上寄与により、売上高は 393億9,389万円（前連結会計年度比 7.5%増）となりました。利益面では、製品の価格改定により収益の確保に努めましたが、急激な円安や物流費等の高騰に加え、原材料価格も依然として高い水準にあることから、営業利益は3億6,830万円（前連結会計年度比 63.4%減）、経常利益は6億3,727万円（前連結会計年度比 52.4%減）、特別利益として政策保有株式の売却による投資有価証券売却益や販売物流システム再構築遅延に伴う受取和解金等があり、親会社株主に帰属する当期純利益は4億1,979万円（前連結会計年度比 46.8%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 文具事務用品事業

基盤事業である文具事務用品事業は、新たな用途提案や商品のリニューアルによって需要の掘り起こしを図り、売上拡大に努めました。「テブラ」では、スマホで手軽にラベルを作成できる「SR-R2500P」を発売いたしました。ステーションナリーでは、定番商品をトレンドカラーにリニューアルした「カラーセクション」シリーズ、“推し活”を楽しむ人向けに8色の豊富なカラーバリエーションから選べる「favluv（ファブラブ）」を発売いたしました。成長分野の各カテゴリにおきましては、世の中のニーズに応える商品を開発し、市場に投入いたしました。デジタル文具では、デジタルメモ「ポメラ」の新機種「DM250」を発売、衛生・健康用品では、会話により発生した飛沫を吸引する「飛沫キャッチャー」を発売いたしました。オフィス・生活環境用品では、道路交通法施行規則の改正により、一般事業者までアルコールチェックが義務化対象となることに先立ち、呼気中のアルコール有無を判別できる「アルコールチェッカー」を発売いたしました。

販売拡大のための施策として、新規チャネル開拓を継続するとともに、テレビ通販の活用、教育機関や建設業への衛生・健康用品の提案などを積極的に推進いたしました。関心が高まる節電対策に向けて、エアコンに取りつけて空調効率をアップさせる「ハイブリッドファン」のキャンペーンを行っております。また、防災用品の認知拡大・売上獲得を目指し、2023年5月10日～5月12日にかけて東京ビッグサイトで開催された「第18回 オフィス防災 EXPO[春]」に出展したほか、「防災アイテム丸わかりBOOK」と題したパンフレットを作成し、オフィス用品メーカーならではの切り口で新規需要獲得に取り組みました。また、(株)エイチアイエムの吸収合併に伴う売上加算もあり、EC事業が伸びました。

しかしながら、昨年好調だった手指消毒器「テッテ」の反動減などの影響により、売上高は 259億3,356万円（前連結会計年度比 0.5%減）、急激な円安や物流費等の高騰に加え、原材料価格の高止まりにより、営業損失は2,007万円（前連結会計年度は5億2,671万円の営業利益）となりました。

#### ② インテリアライフスタイル事業

(株)ぼん家具は、収納用品を中心に家具の売上が拡大いたしました。新製品では、主力の組み立て家具に加え、新カテゴリーとしてペンダントライトなどの照明器具やキッズ用収納品の発売を開始し、売上が好調でした。また、主力店舗のゲキカグが、「楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー2022 家具・収納ジャンル賞」を受賞いたしました。ライフオンプロダクツ(株)では、夏物新作商材の襟エアーファンや3WAYアロマハンディファンなどが好調でした。また、社名を冠した新プロダクトブランド「Life on Products」を立ち上げ、発表会を行いました。(株)ラドンナでは、主力のキッチン家電は売上の伸びがやや鈍化し、前年並みとなりました。Toffyブランドの認知が広まり、メディアでの露出やノベルティ案件が増えております。フォトフレームは、主力のカメラ量販店向けの受注が安定しております。(株)アスカ商会では、主力の花類がフォトスタジオ装飾やブライダル需要の復調により好調でした。グリーン・観葉類も、オフィス需要の取り込みにより引き続き好調を維持しております。

この結果、(株)ぼん家具と(株)アスカ商会が好調だったことに加え、2021年11月より子会社化したライフオンプロダ

クツ株の加算もあり、売上高は 134億6,033万円（前連結会計年度比 27.3%増）、急激な円安による売上原価率の上昇により、営業利益は 3億7,077万円（前連結会計年度比 19.9%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して 22億9,996万円増加し、358億1,214万円となりました。これは主に、商品及び製品が12億2,813万円、投資有価証券が 7億7,028万円、㈱エイチアイエムの株式取得にのりれんが 2億3,575万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して 16億9,854万円増加し、109億7,881万円となりました。これは主に、運転資金需要として短期借入金が 21億5,000万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して 6億141万円増加し、248億3,333万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が 5億335万円、為替換算調整勘定が 2億72万円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して 2億8,636万円増加し、59億2,375万円（前連結会計年度比 5.1%増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1億6,626万円（前連結会計年度は 12億7,830万円の資金使用）となりました。これは主に、棚卸資産の増加額 8億7,445万円や法人税等の支払額 3億4,621万円等があった一方、税金等調整前当期純利益 8億1,709万円や減価償却費 6億3,163万円等によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ 23億4,392万円減少し、12億3,486万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入 2億3,250万円があった一方、子会社株式の取得による支出 5億5,000万円や有形固定資産の取得による支出 3億8,500万円、無形固定資産の取得による支出 2億5,165万円等によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べ 21億4,131万円減少し、10億6,532万円となりました。これは主に、配当金の支払額 6億2,616万円や長期借入金の返済による支出 4億4,840万円があった一方、短期借入金の純増額 21億5,000万円等によるものであります。

### (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期
自己資本比率 (%)	81.3	77.7	78.6	72.0	69.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	92.0	95.2	85.9	75.5	72.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.1	0.5	0.1	△3.5	37.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	266.0	265.6	455.0	△55.7	3.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。

※有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

#### (4) 今後の見通し

日本経済は、社会活動の正常化に伴う個人消費の回復やインバウンド需要の増加などもあり、緩やかな景気回復が見られる一方で、物価高や世界経済の減速リスクなどの下振れ要因も残ります。また、当社を取り巻く事業環境はコロナ禍によりペーパーレス化・デジタル化が進むなど変化しています。

そのような経済・事業環境の変化に対応し、当社グループの第10次中期経営計画の最終年度にあたる2024年6月期は、「成長分野への注力」と「基盤事業の更なる強化」の方針のもと、「文具事務用品事業」・「インテリアライフスタイル事業」の両事業において、新製品開発と需要の掘り起こしにより企業価値の持続的な向上を図ってまいります。

成長分野ではオフィス・生活環境用品やインテリアライフスタイル事業の分野を中心に新製品投入を積極的に行います。また、基盤事業では「テプラ」の認知拡大・用途提案を目的とした販促・広告施策等を実施してまいります。

上記施策により、次期におきましては、売上高 420億円（前連結会計年度比 6.6%増）、営業利益 7億円（前連結会計年度比 90.1%増）、経常利益 9億円（前連結会計年度比 41.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 6億円（前連結会計年度比 42.9%）を計画しております。

#### (5) 利益配分に関する基本的方針及び当期・次期の配当

当社の配当政策は、株主への一層の利益還元と機動的な経営施策遂行のための内部留保を総合的に考慮し、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向の基準を40%とし、安定配当することを目指します。

当期における期末配当につきましては、1株当たりの普通配当7円を、2023年9月14日開催の定時株主総会にお諮りする予定であります。なお、当期における中間配当は、1株当たり7円を実施しておりますので、年間配当は1株当たり14円となる予定であります。

次期の配当につきましては、中間配当7円、期末配当7円の合計14円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移および国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月20日)	当連結会計年度 (2023年6月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,078,942	6,372,104
受取手形	453,185	419,505
売掛金	4,919,830	4,647,476
商品及び製品	8,775,732	10,003,871
仕掛品	476,895	392,743
原材料及び貯蔵品	1,599,620	1,457,402
その他	788,394	814,015
貸倒引当金	△2,624	△385
流動資産合計	23,089,976	24,106,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,094,134	6,163,085
減価償却累計額	△3,888,196	△4,054,465
建物及び構築物(純額)	2,205,938	2,108,619
機械装置及び運搬具	3,101,267	3,281,832
減価償却累計額	△2,819,117	△2,986,364
機械装置及び運搬具(純額)	282,149	295,467
土地	1,588,784	1,582,384
建設仮勘定	103,220	170,930
その他	2,932,739	2,999,850
減価償却累計額	△2,674,249	△2,759,704
その他(純額)	258,489	240,145
有形固定資産合計	4,438,582	4,397,548
無形固定資産		
のれん	1,232,624	1,468,377
その他	628,658	751,694
無形固定資産合計	1,861,283	2,220,071
投資その他の資産		
投資有価証券	2,167,593	2,937,881
退職給付に係る資産	1,293,228	1,516,615
繰延税金資産	244,658	196,139
その他	419,149	439,105
貸倒引当金	△2,287	△1,949
投資その他の資産合計	4,122,341	5,087,793
固定資産合計	10,422,208	11,705,413
資産合計	33,512,184	35,812,145

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月20日)	当連結会計年度 (2023年6月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,618,476	1,334,717
短期借入金	1,040,000	3,190,000
1年内返済予定の長期借入金	450,055	505,547
未払法人税等	218,277	188,871
未払金	880,632	811,689
役員賞与引当金	33,312	17,952
契約負債	26,259	35,805
その他	855,420	959,533
流動負債合計	5,122,431	7,044,116
固定負債		
長期借入金	2,769,278	2,265,384
繰延税金負債	542,364	819,665
退職給付に係る負債	473,620	452,213
資産除去債務	30,751	31,447
その他	341,819	365,984
固定負債合計	4,157,834	3,934,694
負債合計	9,280,266	10,978,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	1,717,573	1,718,670
利益剰余金	22,487,418	22,279,949
自己株式	△2,614,703	△2,587,278
株主資本合計	23,568,979	23,390,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	545,185	1,048,538
繰延ヘッジ損益	3,548	5,179
為替換算調整勘定	△6,842	193,884
退職給付に係る調整累計額	24,528	108,612
その他の包括利益累計額合計	566,420	1,356,214
新株予約権	87,088	87,088
非支配株主持分	9,430	—
純資産合計	24,231,917	24,833,334
負債純資産合計	33,512,184	35,812,145



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月21日 至 2022年6月20日)	当連結会計年度 (自 2022年6月21日 至 2023年6月20日)
売上高	36,636,516	39,393,899
売上原価	23,159,303	25,203,192
売上総利益	13,477,212	14,190,706
販売費及び一般管理費	12,469,604	13,822,398
営業利益	1,007,607	368,308
営業外収益		
受取利息	12,813	20,077
受取配当金	63,014	84,925
為替差益	75,961	34,575
受取賃貸料	150,528	151,052
助成金収入	17,266	7,750
その他	77,438	66,772
営業外収益合計	397,023	365,153
営業外費用		
支払利息	18,663	42,744
賃貸収入原価	44,264	47,010
その他	3,110	6,429
営業外費用合計	66,039	96,184
経常利益	1,338,592	637,277
特別利益		
固定資産売却益	652	139
投資有価証券売却益	911	136,209
関係会社出資金売却益	—	14,693
受取和解金	—	20,680
抱合せ株式消滅差益	—	8,477
特別利益合計	1,563	180,199
特別損失		
固定資産売却損	—	261
固定資産除却損	115,100	122
投資有価証券評価損	478	—
特別損失合計	115,578	384
税金等調整前当期純利益	1,224,577	817,092
法人税、住民税及び事業税	375,850	283,491
法人税等調整額	58,734	89,677
過年度法人税等	—	24,031
法人税等合計	434,584	397,201
当期純利益	789,993	419,891
非支配株主に帰属する当期純利益	1,210	101
親会社株主に帰属する当期純利益	788,782	419,790

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月21日 至 2022年6月20日)	当連結会計年度 (自 2022年6月21日 至 2023年6月20日)
当期純利益	789,993	419,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△187,209	503,352
繰延ヘッジ損益	2,636	1,630
為替換算調整勘定	370,036	200,726
退職給付に係る調整額	△116,397	84,084
その他の包括利益合計	69,066	789,793
包括利益	859,059	1,209,685
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	857,848	1,209,584
非支配株主に係る包括利益	1,210	101

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年6月21日 至 2022年6月20日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益
当期首残高	1,978,690	1,717,573	22,468,110	△2,638,851	23,525,522	732,394	912
当期変動額							
剰余金の配当			△769,004		△769,004		
親会社株主に帰属する当期純利益			788,782		788,782		
自己株式の取得				△226	△226		
自己株式の処分			△469	24,374	23,905		
連結子会社株式の取得による持分の増減					-		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△187,209	2,636
当期変動額合計	-	-	19,308	24,147	43,456	△187,209	2,636
当期末残高	1,978,690	1,717,573	22,487,418	△2,614,703	23,568,979	545,185	3,548

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△376,878	140,925	497,353	87,088	8,219	24,118,184
当期変動額						
剰余金の配当						△769,004
親会社株主に帰属する当期純利益						788,782
自己株式の取得						△226
自己株式の処分						23,905
連結子会社株式の取得による持分の増減						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	370,036	△116,397	69,066	-	1,210	70,277
当期変動額合計	370,036	△116,397	69,066	-	1,210	113,733
当期末残高	△6,842	24,528	566,420	87,088	9,430	24,231,917

当連結会計年度(自 2022年6月21日 至 2023年6月20日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益
当期首残高	1,978,690	1,717,573	22,487,418	△2,614,703	23,568,979	545,185	3,548
当期変動額							
剰余金の配当			△627,258		△627,258		
親会社株主に帰属する当期純利益			419,790		419,790		
自己株式の取得				△82	△82		
自己株式の処分		965		27,507	28,472		
連結子会社株式の取得による持分の増減		131			131		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						503,352	1,630
当期変動額合計	—	1,097	△207,468	27,424	△178,946	503,352	1,630
当期末残高	1,978,690	1,718,670	22,279,949	△2,587,278	23,390,032	1,048,538	5,179

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△6,842	24,528	566,420	87,088	9,430	24,231,917
当期変動額						
剰余金の配当						△627,258
親会社株主に帰属する当期純利益						419,790
自己株式の取得						△82
自己株式の処分						28,472
連結子会社株式の取得による持分の増減						131
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	200,726	84,084	789,793	—	△9,430	780,363
当期変動額合計	200,726	84,084	789,793	—	△9,430	601,416
当期末残高	193,884	108,612	1,356,214	87,088	—	24,833,334

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月21日 至 2022年6月20日)	当連結会計年度 (自 2022年6月21日 至 2023年6月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,224,577	817,092
減価償却費	658,967	631,637
のれん償却額	82,174	196,104
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17,690	△2,585
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△48,481	△62,231
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△161,730	△96,309
受取利息及び受取配当金	△75,828	△105,003
支払利息	18,663	42,744
為替差損益 (△は益)	△61,444	△18,200
固定資産除却損	115,100	122
固定資産売却損益 (△は益)	△652	122
売上債権の増減額 (△は増加)	74,508	351,739
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,304,236	△874,458
その他の資産の増減額 (△は増加)	174,254	△40,262
仕入債務の増減額 (△は減少)	△579,818	△293,586
投資有価証券売却損益 (△は益)	△911	△136,209
助成金収入	△17,266	△7,750
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△212,746	80,287
受取和解金	—	△20,680
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	—	△8,477
関係会社出資金売却益	—	△14,693
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△279,464	90,129
その他の負債の増減額 (△は減少)	77,692	△137,863
その他	27,227	43,318
小計	△307,104	434,987
利息及び配当金の受取額	74,615	100,513
利息の支払額	△22,940	△42,766
法人税等の支払額	△1,040,141	△346,217
助成金の受取額	17,266	7,750
和解金の受取額	—	12,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,278,303	166,267

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月21日 至 2022年6月20日)	当連結会計年度 (自 2022年6月21日 至 2023年6月20日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	—	△149,642
投資有価証券の売却による収入	—	232,502
無形固定資産の取得による支出	△289,954	△251,658
有形固定資産の取得による支出	△508,533	△385,001
有形固定資産の売却による収入	11,187	6,277
貸付けによる支出	—	△137,450
貸付金の回収による収入	—	7,450
差入保証金の差入による支出	△3,689	△5,037
差入保証金の回収による収入	5,985	6,341
定期預金の預入による支出	△632,200	△642,000
定期預金の払戻による収入	613,210	642,007
子会社株式の取得による支出	—	△550,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,773,840	—
その他	△954	△8,648
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,578,789	△1,234,860
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,000,000	2,150,000
長期借入れによる収入	3,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△24,708	△448,402
自己株式の取得による支出	△226	△82
配当金の支払額	△767,756	△626,162
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△9,400
その他	△668	△629
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,206,640	1,065,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	254,916	135,953
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,395,536	132,684
現金及び現金同等物の期首残高	7,032,921	5,637,384
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	153,684
現金及び現金同等物の期末残高	5,637,384	5,923,753

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

#### 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の分配の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社および連結子会社ごとの財務諸表を当社の取締役会に報告しており、これを事業セグメントの構成単位としております。また、各セグメントの製品および販売市場の類似性等を考慮したうえでセグメントを集約しており、当社グループは「文具事務用品事業」と「インテリアライフスタイル事業」の2つを報告セグメントとしております。

「文具事務用品事業」は、主として、当社、P.T.KING JIM INDONESIA、KING JIM (MALAYSIA) SDN.BHD.、錦宮(上海)貿易有限公司、KING JIM (VIETNAM) Co.,Ltd.、錦宮(香港)有限公司およびその子会社である錦宮(深圳)商貿有限公司、ウインセス㈱が展開し、電子および生活環境用品(テプラ、ポメラ他)、ステーションナリー(ファイル、OAサポート用品等)等の製造・販売を行っております。

「インテリアライフスタイル事業」は、主として、㈱ぼん家具、㈱ラドンナ、㈱アスカ商会、ライフオンプロダクツ㈱が展開し、家具、キッチン雑貨、フォトフレーム、アロマ関連商品、時計、アーティフィシャルフラワー、生活家電、雑貨、ルームフレグランス等の企画・販売を行っております。

#### 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2021年6月21日 至 2022年6月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,060,742	10,575,773	36,636,516	—	36,636,516
セグメント間の内部売上高 又は振替高	92,197	239,113	331,311	△331,311	—
計	26,152,939	10,814,887	36,967,827	△331,311	36,636,516
セグメント利益	526,710	462,797	989,507	18,099	1,007,607
セグメント資産	23,498,027	10,107,631	33,605,658	△93,473	33,512,184
その他の項目					
減価償却費	546,831	112,185	659,016	△49	658,967
のれんの償却費	—	82,174	82,174	—	82,174
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	542,194	99,153	641,348	—	641,348

(注) 1. セグメント利益の調整額 18,099千円および、セグメント資産の調整額 △93,473千円はセグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2022年6月21日 至 2023年6月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,933,563	13,460,335	39,393,899	—	39,393,899
セグメント間の内部売上高 又は振替高	102,665	278,245	380,910	△380,910	—
計	26,036,229	13,738,580	39,774,810	△380,910	39,393,899
セグメント利益又は損失(△)	△20,072	370,771	350,698	17,609	368,308
セグメント資産	26,026,413	10,101,078	36,127,492	△315,347	35,812,145
その他の項目					
減価償却費	494,123	137,560	631,683	△46	631,637
のれんの償却額	31,754	164,349	196,104	—	196,104
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	554,068	133,347	687,416	—	687,416

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 17,609千円および、セグメント資産の調整額 △315,347千円はセグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「文具事務用品事業」において、㈱エイチアイエムの株式取得により、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当連結会計年度において 431,856千円であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年6月21日 至 2022年6月20日)	当連結会計年度 (自 2022年6月21日 至 2023年6月20日)
1株当たり純資産額	846.80円	867.29円
1株当たり当期純利益	27.69円	14.72円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	27.57円	14.66円

(注) 1株当たり当期純利益および潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年6月21日 至 2022年6月20日)	当連結会計年度 (自 2022年6月21日 至 2023年6月20日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	788,782	419,790
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	788,782	419,790
期中平均株式数(株)	28,491,160	28,520,767
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	116,300	116,301
(うち新株予約権)	(116,300)	(116,301)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。